

地域で育つ・暮らす

少子高齢化、核家族化で、世代を問わず孤立しがちな世の中です。安心できるまちは、顔の見える関係から。人と人とのつながりを作る仕組みを整え、子育て・介護の社会化を進めます。

- ・一時預かりの拡充などで多様な働き方を支援し、それぞれが望むワーク・ライフ・バランスを実現します。
- ・子育て支援は、身近な相談体制で寄り添い型の支援を充実させるとともに、エンパワメントを促すプログラムを整えます。
- ・こどもの権利条約にもとづき、こども主体の放課後の居場所や、自由な遊びができる場所を増やします。
- ・誰もが安心して暮らせるまちづくりを市民とともに考え、地域福祉計画を実行性のあるものにします。
- ・ソーシャルワーカーを地域に配置し、暮らしを支える制度が必要な人に届くようにします。

自治／行財政・議会改革

議会・行政と市民の距離を縮め、市民自治を進めます。

- ・議会、審議会等の議事録公開を早め、情報発信をタイムリーなものにします。
- ・市民協働推進事業は、最長3年の補助金交付後、必要に応じた制度化を進めます。
- ・ファシリティマネジメント（公共施設適正配置）は、市民自治推進の視点で進めます。

人間の安全保障で防災・減災を

基地関連施設の増設や、集団自衛権の行使容認により、横須賀から他国の戦争に赴く可能性が否定できなくなりつつあります。立憲主義が軽んじられる状況に、主権者としての市民の声を。気候変動が言われています。自然災害に強いまちづくりを進めます。

- ・原子力空母や基地に起因する課題に取り組み、横須賀から平和を発信します。
- ・津波浸水地域、土砂災害警戒区域の周知を図り、減災に努めます。
- ・開発や再開発には、防災・減災・環境保全の視点を大切にします。



やっぱり

こどもが まんなか！

地域経済は、 食の安全・豊かな自然・ 人材育成で

豊かな自然に、市民の8割が「住み続けたい」と言っています。多様な働き方を支援して住み続けられるまちづくりを進め、満足度を上げる工夫で、人口流出を防ぎます。

- ・若者・子育て中の方・高齢者の起業支援や、多様な働き方を応援します。
- ・学校給食（中学校給食の導入も）は食育と捉え、市内生産者との交流で、地産地消につなげます。
- ・「基地のまち」だけではない観光を推進します。
- ・火力発電・原子力発電に反対します。自然エネルギーへの切り替えを進めます。
- ・ごみの発生抑制を進め、ごみ処理施設稼働における環境対策を強化します。

小室たかえと神奈川ネットワーク運動の活動と実績

- 国会・地方議員年金の廃止と、廃止に伴う一時金受け取りの拒否
- かながわ廃棄物処理事業団の廃止
- 県環境整備センター（芦名）への震災がれき受け入れの撤回
- 県鷹取川の護岸改修
- 県観音崎公園再生計画立案への協力
- 市議会常任委員会で別室審議を廃止
- 市議会予算・決算書に財源内訳を明記
- 市民活動サポートセンターの設置
- 子育て支援ヘルパー制度の導入
- 市農薬散布・シックスクールマニュアル
- 市ごみ集積所での集団資源回収
- 市はり・灸・マッサージ券の復活
- 市学童クラブ補助金の増額
- 市小児救急24時間対応の実現
- 1万mプロムナード改修費用の削減
- 明浜・田戸小通学路の改善、安全対策
- 市安浦・富士見公園、青少年会館改善
- 市鴨居 AVE 裏、蛾の発生対策
- 富士見町1丁目開発の戸建への縮小
- 放射能対策の安定ヨウ素剤薬局購入
- 市内空港建設・久里浜焼却場政策提言
- 美術館建設反対・見直しの提案
- にっこり相談での歯科相談日の増加
- 市立学校敷地内埋設放射能汚染土の移設
- 子育てガイドの市HPでのWEBBOOK掲載
- 愛らんどウェルシティ・久里浜・西に子育てアドバイザー配置

—おおぜいの市民で政治を変える！—

神奈川ネットワーク運動は、生活の中から見えてきた課題を、政治家や役所に任せきりにせず、市民主体で解決を図る「市民社会」をめざす地域政党です。会員になりませんか(年会費 1000 円)。チラシポスティングボランティアさんも募集しています。カンパ随時受付中。

企業団体献金も政党助成金もありません

- ◆選挙はカンパとボランティア
- ◆活動費は会費と議員や市民の寄付
- ◆身近な問題はミニフォーラムで解決
- ◆議員は2期8年で交替

カンパ口座 神奈川ネットワーク運動横須賀
横浜銀行横須賀支店 541-1834959